

【KCPS オブジェクトストレージ】 3rd Partyアプリケーション 初期設定方法

s3cmd



KCPS オブジェクトストレージのAPIキーの払い出し

s3cmd (Linux)

注意事項

3rdパーティ製のs3cmは、KDDIとしてサポートしておりません。これらのアプリケーションを利用したことによるファイル破損等におきましては、お客様責任でのご利用をお願い致します。

また、一部KCPS オブジェクトストレージの仕様と合わない機能があり、操作できない機能もございます。ご了承のうえご利用頂きますようお願い致します。



KCPS オブジェクトストレージ

APIキーの払い出し

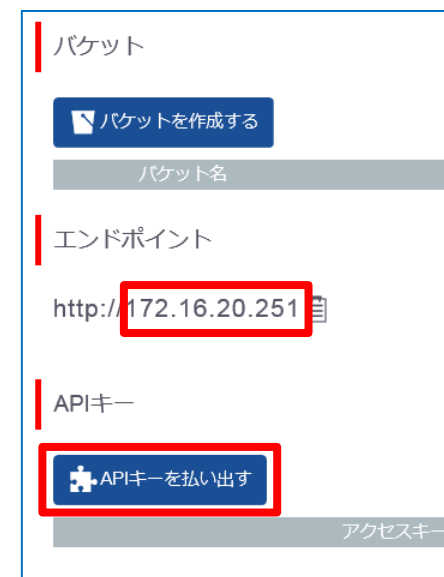
KCPS オブジェクトストレージ APIキーの払い出し

KCPS管理画面より、「Object Storage」を選択します



KCPS オブジェクトストレージの詳細画面が表示されます（右図）

- バケット
作成しているバケットの一覧が表示されます
- **エンドポイント**
申請時に記入したIPアドレスが表示されます
- APIキー
1 契約でAPIキーは2 つまで払い出すことができます



KCPSナレッジサイト抜粋

<https://iaas.cloud-platform.kddi.ne.jp/service/function-list/>
Admin Consoleの主な機能> No.4 オブジェクトストレージ

KCPS オブジェクトストレージ APIキーの払い出し



ボタンを押すとAPIキーが払い出されます

アクセスキーと**シークレットキー**をメモしておきます
シークレットキーの表示は、払い出し時のみなので注意願います



KCPSナレッジサイト抜粋

<https://iaas.cloud-platform.kddi.ne.jp/service/function-list/>
Admin Consoleの主な機能> No.4 オブジェクトストレージ

s3cmd (Linux)

s3cmd インストール

インストール

以下はインターネットに接続可能なLinuxサーバを想定しています
rootユーザで接続し、以下コマンドから、s3cmd をインストールします

```
$ wget https://bootstrap.pypa.io/get-pip.py
```

```
$ python get-pip.py
```

```
$ pip install s3cmd
```

以下でヘルプの参照が可能です

```
s3cmd --help
```


s3cmd 設定 -1

config初期設定

\$ s3cmd -configure コマンドを入力し、s3cmdのconfig設定を起動します
以下、対話形式で進み、当該内容を設定します

設定項目	設定内容
Access Key:	アクセスキーを入力(P6参照)
Secret Key:	シークレットキーを入力(P6参照)
Default Region [US]:	そのままEnterキーを入力
S3 Endpoint [s3.amazonaws.com]:	そのままEnterキーを入力
port template for accessing a bucket [% (bucket)s.s3.amazonaws.com]:	そのままEnterキーを入力
Encryption password:	そのままEnterキーを入力
Path to GPG program [/usr/bin/gpg]:	そのままEnterキーを入力
Use HTTPS protocol [Yes]:	nを入力 or https使用の際はそのままEnterキーを入力
HTTP Proxy server name:	そのままEnterキーを入力
Test access with supplied credentials? [Y/n]	nを入力
Save settings? [y/N]	yを入力(設定を保存)

※上記手順を途中で間違えた場合は、再度コマンド入力から手順をやり直して構いません
上書きされます

s3cmd 設定 -2

config修正

前ページの操作によりコンフィグファイルが作成されます
このコンフィグファイルの下表の設定項目を編集します

```
vi /root/.s3cfg
```

コンフィグファイル [.s3cfg] に以下の設定をします

設定項目	設定内容	凡例
access_key	KACで作成したアクセスキー(P6参照)	ak7FpiChwiUWyUW
check_ssl_certificate	False	False
check_ssl_hostname	False	False
host_base	エンドポイントIPアドレスを設定(P5参照)	11.22.33.44
host_bucket	エンドポイントIPアドレスを設定 + 「/(bucket)」	11.22.33.44/(bucket)
secret_key	KACで作成したシークレットキー(P6参照)	GEIjwpeEiwjsEG0Vje0a
signature_v2	True	True

s3cmd 操作

操作コマンド

操作内容	コマンド	操作内容説明
バケット一覧	s3cmd ls	バケットの一覧表示します
バケット内参照	s3cmd ls s3://aaaa/bbbb/	最後のスラッシュは必要です aaaaバケットのbbbbフォルダ一覧を表示します
アップロード	s3cmd put zzzz.txt s3://aaaa/bbbb/	ローカルディレクトリのzzzz.txt というファイルを aaaaバケットのbbbbフォルダにアップロードします 最後のスラッシュが無い場合は、その名称でアップロードされます 左記で最後のスラッシュが無い場合は、フォルダ名と同じ なため無視される模様です
ダウンロード	s3cmd get s3://aaaa/bbbb/zzzz.txt	aaaaバケットのbbbbフォルダのzzzz.txtファイルをローカル にダウンロードします
削除	s3cmd del s3://aaaa/bbbb/zzzz.txt	aaaaバケットのbbbbフォルダのzzzz.txtファイルを削除しま す
コピー	s3cmd cp s3://aaaa/bbbb/zzzz.txt s3://aaaa/cccc/	aaaaバケットのbbbbフォルダのzzzz.txtファイルをaaaaバ ケットのccccフォルダへコピーします
ディレクトリの アップロード	s3cmd put -r yyyy s3://aaaa/bbbb/	最後のスラッシュは必要です ローカルのyyyyディレクトリを、aaaaバケットのbbbbフォル ダに作成します yyyyディレクトリ内にファイルが存在しない場合は作成でき ません



Quality Cloud